

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2		
科 目 名	教育と人間				
担 当 者	光成研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.6	4.6	4.6	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>70名のうち67名の学生が授業評価アンケートに回答してくれました。この人数で4.8の総合評価をいただけて、嬉しいです。「いのちのサポーター」であり、対人援助職を目指す皆さんにこの授業の意義や必要性を理解してもらえたからこそ、この評価が出たのだと思います。記述欄にも良いと思った点しか記述がなかった授業は初めてです。「いのちについて深く考えることができた。」、「ゲストスピーカーの方のお話で曖昧になりがちな生と死の問題について現場の視点で考えることができた。」などの声を聞くことができました。来年度もテーマが散漫にならないように系統的に深く学生自身が考えることができる授業を目指します。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	まなぶる▶ときわびと I				
担 当 者	光成研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.5	4.5	4.6	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>科目責任者として学生の記述で気になった点（改善すべき点）を列挙します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学生の授業参加への意欲がばらばらでした。」 ・「同じことをしているのに、教室ごとに内容の差がすごくあるな、と感じた。」 ・「プレゼンやディベートを準備する時間が短いと感じた。」 ・「先生によって教えてもらえる知識量が異なるように感じる。」 ・「先生がだるそうにしている。」 ・「ペーパーを見ながら発表するクラスもあれば、暗記するように言われる先生もおられる。統一されていない。」 <p>そうですね。専門も異なる 30 人の先生がペアで 15 クラスを運営しているので、指導法に違いが出るのはある程度了承してください。しかしながら授業開始前に 30 分、終了後に 30 分担当教員（ほぼ全員）が毎週集まって、可能な限り教育目標、内容、方法を共有するようにしています。とりわけ評価に関しては、全教員が全教員の評価をワンドライブ上で見えるようにし、共通のルーブリック評価を基準として、担当教員によって、評価の差が出ないように工夫もしています。この授業は相対評価ではなく、絶対評価であり、一人の先生が 15 人の学生をしっかりと見るようにしています。先生に疑問点などがあれば授業の中でも積極的に質問してください。改善してほしい点があれば相談してください。また全体で発言しにくいことなどがあれば学科の先生に伝えるようにしてください。</p> <p>総じて良い評価（4.5）をいただけていると思いますが、来年度以降も皆さんの意見を参考に授業改善していきます。ありがとうございました。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	立垣 祐子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	5	5	5	5	
学生へのメッセージ					
<p>このたびは、「学生による授業評価調査」にご協力いただきありがとうございました。「学生自身」は4.2「授業内容」,「授業方法」,「学習成果」については5.0でした。回答くださった方全員が「この授業に意欲的に参加した」に5をつけてくださり、そのことがとても嬉しかったです。資料の読み込みは医学書であり、難しい部分もあったと思いますが、素晴らしいプレゼンテーションが続きました。私自身、そのように教えたら伝わりやすい等、履修生の皆さんのプレゼンテーションから学ぶことが多かったです。この授業での学びをご自身、まわりの人々に役立て、心健やかに充実した大学生活を過ごしてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	橋本好市				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.5	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>今年度は、稀にみる履修者の多さで驚くとともに、私のテーマを選んでいただけたことには感謝申し上げます。履修者の多さからグループ活動がスムーズにいかない班もあったと思われます。この度のケースを踏まえて、今後の講義運営に活かしてまいります。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2		
科 目 名	コミュニケーション論				
担 当 者	谷口英明				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.7	4.7	4.6	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>皆さんから楽しかった、授業が楽しみだった、人と接していくうえで、とても重要なことを学べたなど多くの高評価をいただき嬉しく思います。私自身も皆さんと会えるのが楽しみでした。生活をしていくうえで、とても大切なのがコミュニケーション能力です。基本的な考えやスキルを学んでいただいたと思います。発表やグループワークもたくさん行いました。気づいた点はぜひ、実践して行ってコミュカを上げていってくださいね。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	芸術文化論				
担 当 者	谷口英明				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.7	4.8	4.6	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>毎回、様々な分野で活躍している方々の講義を聴くというユニーク基盤教育科目です。今年度も素晴らしい講師の方々が、これまでの生き方や考え方を話してくださり、皆さんからも「大いに刺激を受け、今後の参考になる部分も多かった」という感想をいただきました。来年度もバラエティ豊かな方々をお招きしたいと思っています。また、この科目を履修していない友人にもぜひ、勧めていただけたら幸いです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	現代社会と生命科学				
担 当 者	松元英理子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.3	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>お疲れさまでした。遠隔授業に慣れるまでは苦労したのではないのでしょうか。学科も学年も様々な「多様性」のある皆さんでしたから、これまでの「生物」の学修状況によっては難しいと感じた方もおられたのではないかと思います。</p> <p>現代は最先端の生命科学が皆さんの身近にあり、その科学技術を享受するかどうか、皆さん自身にゆだねられる場面が増えています。グループワークで扱った遺伝子組換え食品や、新型コロナウイルスのワクチン接種もそうですね。こんな時代を生きる皆さんに、授業を通じて、「高校で学んだ生物学で、多くのニュースが理解できる」ということと「理解したうえで導き出す答えは、ひとそれぞれ違ってよい」ということを感じていただけたのなら、この授業の意義はあったと思います。</p> <p>生命科学は恐ろしいスピードで発展しています。これからも必ず新しい問題がどんどん生まれてきます。そんなときは、生命科学の基礎に戻ってじっくり考えてみてください。</p> <p>良かった点として「グループワークで意見交換ができた」や「(遠隔だが) 問いかけなどが多く含まれていた」などのコメントを頂きました。遠隔授業は皆さんの反応が見えずライブ感も生まれにくいというデメリットがありますが、逆に manaba 上でグループワークは、じっくり考えた意見を出せて、中身の濃い議論になったのではないのでしょうか。</p> <p>改善点として「正直うけにくいと感じた」というコメントがありましたが、もうすこし具体的なコメントをいただけると次年度に活かします。今からでも…</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	F110210				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	5	5	4.9	5	
学生へのメッセージ					
<p>1 年生前期科目とした開講したこの科目には、8 名に受講をしてもらいました。「口腔の健康」と「身体の健康」に興味を持っていただきたく、講義や実習、また学生さんによるプレゼンテーションなど楽しく授業をおこないました。</p> <p>8 名全員が積極的な姿勢で受講してもらい、授業評価もほぼ 5 点満点の評価をいただきました。この講義を受講して、知らなかったことを知る喜びや自身の健康に向き合う姿勢など、医療人としての基本的な態度を少しでも身に付けてもらえたのなら嬉しいです。</p> <p>これからの学生生活においても、何事にも能動的に学習を積み重ねてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	安全学				
担 当 者	伴仲謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.2	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価に回答してくれたみなさん、ご協力ありがとうございました。災害が頻発する近年において、各人が防災を考えることは当たり前のことになってきています。今年も水害等、全国各地で大きな災害が発生してしまいました。特に、専門職を目指すみなさんには、一人の市民としてだけでなく、「職業人」としての防災や安全についての知識や意識が求められます。それは言い換えると、有事の際には「自分だけでなく自分以外の誰かを守る」という職業的責任、あるいは職業倫理を持たなくてはならないということです。</p> <p>一方で、授業の冒頭にもお話ししましたが、この授業はオムニバス形式です。オムニバスは、いろんな知識を幅広く得られるメリットに対して、得られた情報・知識を自分の中で消化して「再構築」していかなければなりません。これが十分でないと「学び無し」にもなり得るということです。この点はいかがでしたか？</p> <p>この授業の経験が、将来のみなさんのプロフェッショナリズムや今後の学び方につながることを期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	福田昌代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.4	4.7	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>今年度は 12 名の先生方が担当され、121 名の学生さんが受講されました。それぞれの先生方のテーマに沿って学習できたようで、皆さんが好成績で終えることができたようです。これから、各専門の学修が深くなっていきますが、今回学修したことを踏まえ、4 年間頑張って、それぞれ目指す資格を取得していただけたらと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーション I				
担 当 者	脇本聡美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.2	4.4	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>この授業では「英語は使いながら学ぶ」ということを目指していました。おそらく、高校までは英語という科目は正しいスペル、文法、訳、というように正確でなければいけないという思いに縛られていたのではないのでしょうか。しかし、本来、私たちは使うために英語を学習しているはずで、みなさんには英語を使って学ぶ、情報を得る、表現するという経験をたくさんして、自信をつけていてもらいたいと思います。ことばは知的な道具です。暗記するだけでは使えるようにはなりません。使いながらでなければ上達することはありません。教材のニュースを理解することも、英語の発表もねらいは英語を使うことでした。</p> <p>「行きたい海外の都市でしたいこと」をトピックにしたみなさんの英語発表は素晴らしかったです。毎週とても楽しませてもらいました。また、英語で文章を書くことが上手な学生さんがたくさんいたことにも感心しました。</p> <p>これからも、英語を使うことを意識して、いろんなことにチャレンジしてほしいと思います。いつか調べて発表した都市を尋ねて、是非自分の目で見て来ててください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	国際理解				
担 当 者	鈴木 脇本 浦 黒野 金 長谷川 中野 宮澤 伴仲 水村				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.6	4.5	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。本科目は「多様性を理解する」ことを目的とし、国際交流センター全員が担当する昨年度から開講の新しい科目です。このため授業内容の組み立て、対面と遠隔のハイブリッド形式での実施もまだまだ試行錯誤の中でした。しかしながら、皆様の授業評価やアンケート結果では、異文化理解の参考になったとのフィードバックを多くいただくことができ、本科目の目的はかなり達成できたと考えます。今後、皆様のご意見を国際交流センターで詳細に検討して、より良い科目にしていきたいと考えます。</p> <p>本講義で、国際（多文化）関連に興味を持たれた方は、大学生活の中で国際交流センターやKICC 主催のプログラムに積極的に参加いただくことにより、さらに幅広い視野を持っていただくことを期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	人類と地球環境				
担 当 者	笹井隆邦				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.2	4.5	4.6	4.3	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>自然に触れる機会が少なくなっています。少しでも自然に興味を持っていただき、公園等を散歩したときに、「これ何だろう？」と立ち止まっていたら嬉しいです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.5	4.6	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>放射線とどう付き合うかというテーマでしたが、実験や、調査、オリジナルの放射線の偏見を考えるための劇の作成など、多方面からのアプローチで、テーマについて学んでもらえたと思います。</p> <p>①この授業でよいと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> •最後の授業でのプレゼンテーションでは、グループで調べ学習をし、自分の知識を深めることができた。 •まだ見ぬ放射線について詳しく調べれる場があるのは面白く、貴重であった。 •楽しかったです <p>②この授業で改善すべきだと思った点</p> <p>なし</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学 I				
担 当 者	近藤みづき他				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.3	4.2	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>アンケートへの回答ありがとうございました。授業評価結果や記述内容をみると、ある程度皆さんが満足する授業が展開できたと感じています。特に、毎回教員が変わり、様々な知識が得られたことが良かったようです。</p> <p>本授業はそれぞれの教員が専門分野をいかして健康にアプローチしていく授業内容で構成しています。自由記述から、「いろんな分野から様々な視点で学ぶことができたので良かった」「動画が見やすかった」という意見がある一方で「ものすごく聞き取りにくい動画があった」と「締め切り日を統一してほしい」という意見もありました。動画については確認します。締め切り日については概ね統一されていると思っています。レポートを提出し忘れたことは残念ですが、最終的には皆さんの管理を徹底していただくようお願いします。</p> <p>皆さんにおいては、遠隔授業であっても、毎回のレポート提出を努力されていたと思います。この授業で学んだ知識は、個々の毎日の生活改善に取り入れ、生涯にわたって健康的な生活が送れるようになることを期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	暮らしの中の物理学				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.4	4.4	4.3	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>不思議な物理現象を体験してもらったコンセプトでしたが、百聞は一見に如かずで、体験してもらえて良かったと思います。</p> <p>①この授業でよいと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な例が多く挙げられており、日常生活でも物理が利用されている事が分かりとても面白かったです。 ・力学、放射線、光など実験を通してその現象を考えることが出来た点。実験がすごく楽しかったです。 ・先生がいつも実際に実験をしてくださるためとても 1 時間 1 時間興味を持つてでこることができました。 ・新しいことを学べたり、実際に体験できて楽しかったです。 ・実験が多く、難しい話でも実験を見たり行ったりして試みることで理解を深めることが出来た。 ・実験がたくさん行われて楽しかった。物理はあまり分からないことが多く初めはしっかり学べるか不安だったが分かりやすく説明してくれてしっかり理解することが出来た。 <p>②この授業で改善すべきだと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライドを manaba 上で配信してもらえると、レポートを書く時にありがたいなと思います。 					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅱ				
担 当 者	近藤みづき・松本大祐				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.7	4.6	4.6	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>アンケートへの回答ありがとうございました。授業評価の結果や記述内容をみると、ある程度皆さんが満足する授業が展開できたと感じています。これは、皆さんが積極的に授業に参加してくださったからだと考えています。</p> <p>この授業は「健康スポーツ科学Ⅰ」と結びついた知識と共に、各自の体力を把握し、身体活動を実施することで起こるからだの変化を理解することを目的としています。自由記述では「脈拍やカロリーなど、興味深い内容が学ぶことができた。」「授業のレポートでは自分で調べる力や自己分析の力が身についた」「楽しくスポーツに取り組めた」「歩数計の反応が鈍いものがあった」という意見があり、授業の目的が伝わっていることが理解できました。歩数計の不具合については改善します。</p> <p>この授業で学んだことを今後、自らの生活に即して考え、自身の健康のために継続して実践されることを期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3		
科 目 名	災害とまちづくり				
担 当 者	室崎友輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.5	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>阪神淡路大震災から長田の町は復旧・復興を遂げてきました。人口が減少していく社会では、復興のカタチや幸せのカタチも変わってきます。みなさんがもしこれからの人生で災害に直面した際、どんな社会情勢かはわかりませんが、未来をみて復興やまちづくりを考えられる人になったもらえたらと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	江崎ひろみ				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	5	4.9	5	5	
学生へのメッセージ					
<p>本科目は 教員の研究分野に興味を持っていただき、探求する姿勢を身につけていただくことを主眼に置いていました。皆さん高齢者へのやさしい思い・姿勢を備えた学生さんばかりで、一緒に体験し、考える時間はとても楽しかったです。7人がそれぞれの意見を出し共同作業をすることもできたと思います。これから看護師として放射線技師として、摂食嚥下分野のケアや治療に関わることもあるかもしれません。多職種が連携しその専門性をいかした活動の先駆けとなる経験をしていただけたのではなかと思います。(江崎)</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーションⅠ				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.3	4.4	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>多くの人が真面目に授業に取り組んでくれました。毎回出題されたマナバの課題も、概ね遅れることなく提出できました。このことで学習の習慣が少しでもついてくれればと思います。また、授業外で読書レポートを提出する課題もありました。英語の本を読んでレポートを書くという課題でした。ほとんどの人はしっかりと読めて、内容をまとめることができていました。さらに英語でのグループプレゼンテーションにも取り組みました。原稿作成やパワーポイントの作成、発表の練習など、グループ内で力を合わせて仕上がったと思います。どのプレゼンテーションも興味深い内容に仕上がっていました。</p> <p>英語が得意な人も苦手な人もいると思いますが、今年度の皆さんはよく努力をしていたと思います。英語の学習はどのようなものを使ってでもできます。時間が自分のために十分に使える学生時代に、自分に合う方法で英語に是非取り組んでほしいと思います。医療現場では英語が必要な場面が多いことと思います。これからも自分で積極的に学んでくれることを願っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	日本通史				
担 当 者	片山正彦				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4.0	4.2	3.9	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>サブタイトルを「畿内近国の中近世史を学ぶ」として、テーマをしぼりましたが、2000年以上の歴史がある日本史をわずか8回の授業で講義するということもあり、こちらが伝えたいことを上手く受講者に伝えられず、非常に申し訳なく思っております。またの機会があれば、神戸もしくは兵庫県という地域の歴史に密着した講義をして、受講者の皆さんに興味を持っていたような内容にしたいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	哲学と倫理				
担 当 者	中野 康次郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	3.7	3.7	3.8	3.8	
学生へのメッセージ					
<p>この「哲学と倫理」の授業では、受講者の皆さんに「自分の頭で考える」という作業をしてもらいました。</p> <p>毎回提出してもらった感想の中には「難しい」という意見もありました。確かに簡単には答えが出ない問題もあります。しかし、「考える」ということは楽しい作業でもあります。その楽しさに気づいていただけたでしょうか？</p> <p>「哲学と倫理」の授業は終わりましたが、皆さんが今後とも考え続けて行かれることを期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	文学				
担 当 者	藪葉子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	3.9	3.6	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>この授業は、受講生の人数が多いこともあり、個別の対応はほとんどできないことが当初から予想されました。</p> <p>ですので、基礎から丁寧に学習できる授業内容にし、授業ペースもかなり余裕をもって進めました。</p> <p>アンケート結果を確認すると、概ね授業に満足してくれているようで安心しました。</p> <p>この授業を受講した全ての人にとって、良い学びになったならば嬉しいです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	人類と農学				
担 当 者	大菅誠司				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.4	4.4	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<ul style="list-style-type: none"> ・この授業を受けて、少しでも植物・農業・環境に関心を持ってもらおうと思いました。 ・植物名をよく知ってもらうため、スライドを多数用意し実物をイメージできるようにしました。 ・植物名などを答えるクイズを毎回行いましたが、これをきっかけに植物に興味を持ってもらえたらうれしい。 ・PowerPoint の発表をしてもらいました。色々なテーマがあり全員で楽しく見られました。これからの仕事に生かしてください。 ・野菜や草花を育ててみたいと思うように少しはなりましたか。 ・毎回の食事で口に入るまでにたくさんの人の手がかかっているのがわかりましたか。 ・自分の専門以外の勉強も幅広くしておくことが大事です。たくさんの知識、情報を手に入れてください。 ・パソコン、スマホなどの世界になれていると思いますが、読書・手書きの世界も重要です。 					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	日本国憲法				
担 当 者	柴山 慶太				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4.3	4.3	4.1	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>専門外の分野であるにも関わらず、最後までおつかれさまでした。憲法は皆さんを守る武器です。これからもたまには、憲法で守られている権利を思い出して、生活の中に適用してみてくださいと思います。</p>					